



1e2017-001

2017 会計年度

一般財団法人ワンアース
事業計画書

平成 28 年 10 月

一般財団法人ワンアース



1e2017-001

はじめに

一般財団法人ワンアースは、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく、という目的を掲げ、2015年6月5日に創立された。

本書は、当財団の2017年度(2016年10月1日から2017年9月30日まで)の事業計画を示すものである。

2016年10月1日

代表理事 長谷川洋一



1e2017-001

1. 当財団設立の目的

宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく

宇宙飛行士が、宇宙から生々しい言葉と映像を伝える時代になり、この星のありのままの姿が認知されるようになった。その結果、かけがえのない母星で共に生きる『地球市民』という新たな価値観が、国境を越えて醸成されつつある。

一般財団法人ワンアース®(以下、ワンアースという)は、地球市民、とりわけ未来を担う青少年らとともに、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを学ぶ。

そして、国境を越えた地球市民活動を展開し、各地域の風土や文化の多様性を、相互に敬意を持って受け入れ、宇宙文化とも言える新たな共通の価値観を紡ぎ出す。

これらの活動により、この星に生きる誇りと喜びを共有し、世界を一つに繋いでゆくことを究極の目標とする。

当財団は、設立以来 2020 年頃までは、以下の分野を重視する。

1) きぼうの桜事業

宇宙を旅した「きぼうの桜」群を筆頭に、「ソラユリ(宇宙を旅したササユリ)」「宇宙すみれ春野・希望(宇宙を旅したコスミレ)」を、東日本大震災、阪神淡路大震災、日航機墜落事故、原爆等の被災地に贈呈し、復興と市民交流を支援するとともに、大災害の記憶を人類共有の教訓として継承していく。

2) 宇宙文化の創造事業

国内外からの地球市民の参加を得て、国際宇宙ステーション等を活用した宇宙ミッションを実施し、宇宙的視野からみた地球の姿および宇宙飛行士からのメッセージなどを世界で共有し、宇宙文化を創造していく。



2. 前年度までの事業概要

- 2015年6月5日 創立(登記)
- 2015年9月26日 評議員会、理事会、設立記念パーティー開催
- きぼうの桜計画実行
 - 宇宙桜を保有する各地域を直接廻り、または調整し、復興のための苗の提供に係る協力を取り付けた
 - ◇ 秋田県仙北市、福島県三春町、山梨県北杜市、岐阜県岐阜市、岐阜県本巣市、岡山県真庭市、高知県仁淀川町
 - 東北三県沿岸の全ての市町村(復興推進課、総務課、企画政策課または市町村長)を訪問し、当該計画の直接説明を行い、理解が得られるよう努めた(原発直近4市町村を除いて33市町村)
 - 提案の了承が得られた市町村に関しては、宇宙桜の植樹に関する具体的な計画立案に着手した。
- 広報計画の実行
 - ホームページを制作した(内作)
<http://www.the-one-earth.org/jp/>
 - ◇ 当財団の概要、事業、定款等公示事項を掲載
 - ◇ ご寄付に関する口座等の案内を掲載
 - きぼうの桜計画に関するパンフレットを制作し、約1000部配布した
 - クリアフォルダ、ピンバッジ、エコバッグ等を試作した
- 外部発表等
 - 学会発表: 日本櫻学会 口頭(2015.6.21)
 - 学会発表: 生態工学会 ポスター(2015.6.27-28)
 - 講演: 『Mother Nature 母なる自然と癒し』 淡路島(2015.8.9)
 - 国際宇宙物理学シンポジウム(ISPS-6 in Kyoto) 展示(2015.9.14-18)
 - ラジオ: 大村正樹のサイエンスキッズ 文化放送(2015.9.26 & 10.3)
- 報道等
 - 山梨日日新聞(2015年8月28日 写真入り)
 - 朝日新聞(2015年9月5日 山梨版 文字のみ)
 - 八ヶ岳ジャーナル(2015年9月16日 写真入り)



1e2017-001

3. 今年度(2017年度)事業計画

2015年に一般財団法人として設立したワンアースは、定款にて『非営利が徹底された法人』として活動の実績を上げつつ、2017年に、公益財団化の申請を行う。

きぼうの桜計画は、当財団の存在意義に関わる試金石でもあるため、最重要事業として推進し、2017年度中には東北三県のすべての沿岸市町村にて計画を公式化し、その5箇所程度においては、2017年春期に実際の植樹祭を行う。

2017年夏期においては、きぼうの桜事業に参加する各地域の水平的なつながりの礎を築くための会合「きぼうの桜サミット」を、東北のいずれかの町にて試行する。

きぼうの桜をとりまく市民文化の種まきとして、物語および合唱曲を創造する。

また、全国的に認知してもらうためにも、公的補助金を獲得し、メディア露出含めた広報努力を行う。

さらに、2020年頃までの成果を目指した宇宙ミッションを検討し、外部有識者・協力者らの意見も取り入れつつ、魅力的なプロジェクト計画を2017年度内に策定する。

以上の方針により、2017年度(2016.10.1-2017.9.30)は、以下の事業を行う。



1e2017-001

1) きぼうの桜

きぼうの桜事業とは、宇宙を旅した「きぼうの桜」を、再生のシンボルとして復興各地に贈呈・植樹する事業であり、桜の植樹後、恒久的な養育までを含むため、その事業期間は千年以上と想定している(当面の表記上は、3011年3月11日までとする)

きぼうの桜

千年の津波から、千年の桜が守ってくれる

<宇宙桜の特長>

数千年生きる
樹齢千年級の我が国屈指の名桜たちの直系。ソメイヨシノではなく、日本の古来種エドヒガンなど

巨大化する
成長が早く、樹高30-40m(公園の桜は8m程度) 枝張りも20mを超える

話題性がある
世界的に報道(BBC, AFPなど)されてきた宇宙桜は、明るい話題を提供する

今回の津波到達点

- ①巨桜が避難の目印に**
安全圏を示す、子孫に伝承できる目標物
- ②雄々しい宇宙桜は希望のシンボル**
尋常でないその生命力は、観る者に生きる力を与えてくれる
- ③新しい観光資源として**
一本有るだけで渋滞が起こるほどの観光名所になる
- ④東北海岸で宇宙桜の巡礼ができる**
地域交流、そして数千年続く文化事業を、今、はじめましょう

この事業をきっかけに、各地の市民・青少年交流を醸成し、ワンアースが掲げるあらたな夢と希望の宇宙文化活動を展開していく

本年度の業務範囲は、以下の通りとする。

- ① 東北三県沿岸の全ての市町村において、当該計画を公式化する
- ② 公式化した市町村から、随時計画を具体化する
 - 現地視察を経た植樹場所の決定
 - 植樹時期の決定



1e2017-001

- 植樹する宇宙桜の種類の設定
 - 植樹のための緑化造成の検討
- ③ 植樹に至るまでの文化・交流イベントを計画し、実施する
- 手紙等による市民交流
 - 青少年主体のイベント計画
 - 贈呈元からの代表団派遣計画
- ④ 宇宙桜・苗を保有する各地域を廻り、復興のための苗の提供に係る協力関係の維持に努める
- 宇宙すみれ(浜松市天竜区春野町)も含む
 - 苗制作に対する補助金配布も検討する
- ⑤ 市町村単位のみならず、包括的なイベントや交流機会を企画する
- きぼうの桜サミット等(種が地上に帰還した7月31日を記念日としたい)
 - 将来的には、各地で宇宙桜を増やし、サミットで苗や実を交換
- ⑥ 合唱曲「きぼうの桜」の委嘱制作
- 作詞 村田さち子先生、作曲 しゅうさえこ先生
 - きぼうの桜サミット等でお披露目
 - 各市町村での贈呈で必ず歌われるようにする
- ⑦ 宇宙・淡墨桜の里帰りプランの実現
- 京都府立植物園に唯一現存する「宇宙・淡墨桜」の苗を増殖していただき、故郷である岐阜県本巣市に贈呈する
 - 計画は、本巣市の公式事業として遂行する(市長名での依頼等)
 - 本巣市内での植樹場所や植樹形態にも配慮し、長く人々の目に触れ喜ばれるような計画とする

きぼうの桜事業の詳細については文書番号 1e2017-002「きぼうの桜計画 2017年度版」に定め、随時改訂していくものとする。



1e2017-001

2) 新規事業の創出

国内外の地域交流、教育に貢献するため、以下のような事業に着手する。

- ① 青少年と共に学ぶ宇宙教育
 - きぼうの桜のみならず、宇宙教育の機会を創出する
 - 学会等からの応援も要請(生態工学会など)
 - 文部科学省はじめ、各種補助金等も検討
- ② 新たな宇宙フライトミッションの創出
 - 国内需要の開拓と JAXA/JAMSS 等との連携による実現
 - 東北から宇宙へ！ ミッション創出
 - 地球の欠片(エベレスト、ツバル、深海)ミッションの仕込み
- ③ 大イベントへの参画と、アピール機会の獲得
 - 横浜 都市緑化フェア2017(NHK と連携、ニューエデン計画)
 - 八王子 都市緑化フェア2017
- ④ 国際交流とパイロット事業試行
 - マレーシア宇宙トウガラシによる東北復興支援
 - 台湾との国際交流
- ⑤ 出版
 - 宇宙飛行士による地球写真集世界出版



3) 広報

① ワンアースのホームページを随時維持改訂・改善する

- ホームページは即時改訂に努め、活動報告や各種公示が遅滞なく実施できるようにする
- きぼうの桜計画で東北各市町村を巡礼するに当たり、先方の担当の方が当財団を知るために必要な情報を、常時最新化し、掲載しておく

② ワンアースのパンフレットを随時維持改訂・改善する

- 美しく分かり易い、そして女性のバッグにも入りやすいコンパクトなサイズのパンフレットとする(A5サイズ以下など)
- パンフレットには提携しているカリスマ犬「サモエド犬のソラ」などのキャラクターを活用し、ホームページ閲覧への誘因効果を得る
- きぼうの桜計画の説明において各市町村を巡礼する際にも活用するほか、機会を作り、配布・公示に努める

③ イベント等の活用

- 広く市民の集まる展示会やイベント等に参加し、ワンアース事業の認知度向上と協力ネットワーク生成に努める
- 宇宙コミュニティの集会、有力学会等における発表もしくは展示機会を、効果的に利用する

④ ノベルティグッズ等

- クリアフォルダ、ネクタイ、カレンダー、宇宙酒等



1e2017-001

4) その他

① 公益財団申請

- 内閣府へ提出、年度内の公益化を目指す

② 補助金の獲得

- 復興庁
- 国土交通省
- 環境省
- 文部科学省
- 在野の補助金

③ 協賛の獲得

- 企業協賛に対する考え方を整理しておくこと
- 優良大企業への打診等
 - 財団全般への支援／きぼうの桜等個別プロジェクトへの支援の識別が必要

④ オフィス等

- 事務所は当面、茨城県竜ヶ崎市、代表理事の自宅で代用する
- 常勤者(現状は代表理事のみ)への報酬支払については、補助金の獲得等財政事情に合わせて考慮する

⑤ キャンパス構想

- 将来的には、ワンアースの事業拠点を国内外各地に広げていく
- キャンパスと呼称し、各地のキーになる活動主体と緩やかに連携



1e2017-001

5. 長中期事業項目(2016-2020年)

一般財団法人ワンアースの社会的使命を果たすため、中長期的には以下の事業に取り組む。

- 1) 宇宙桜等の保護、育成、増殖及び活用
- 2) 東日本大震災、阪神淡路大震災等復興地への支援活動
- 3) 青少年等の夢をはぐくむ宇宙文化創造事業(市民参加型宇宙ミッション含む)
- 4) 宇宙文化交流事業(海外への桜贈呈等含む)
- 5) 地球市民参加型宇宙ミッション(花伝説世界版、地球のかげら など)

これらに関しては、今年度の事業進捗を踏まえつつ、次年度以降の事業計画に反映していくものとする。